

西部パレット利用者連絡会ニュース

【発行】西部パレット利用者連絡会幹事会

【発行日】4月30日

No.2号



黙っていると無くなります！！

西部パレットの今後の在り方について 県は浜松総合庁舎への縮小移転を提案

が、私たちはパレットが鍛冶町にあるからこそ生まれた価値を守る方策を提案したいと思っています。

24日の「第3回 利用者連絡会」は、静岡県から県民生活課課長など3名の職員、利用者連絡会33名の出席のもと、こんな話し合いがもたれました。

静岡県

2月16日から4月16日に西部パレットの利用状況を調査した。

- ① 活動範囲別にみた使用率
・浜松市のみを活動範囲とする団体:39% ・浜松市を含む広域を活動範囲とする団体:60%
・その他の市町のみを活動範囲とする団体:1%
- ② 会議室の使用団体はある程度固定化している。クローズドスペース(会議室)の面積分を団体同士、顔が見える関係をつくる「オープンスペース」として活用したい
- ③ ロビーAは同時に50人が利用できる規模があれば現在の活動を妨げない

従って、

- ① 西部パレットの機能見直し案として、会議室を廃止し、面積は767.3㎡から200㎡程度とするが、その他の機能については今まで通り、提供する。
- ② 移転先として浜松総合庁舎を想定。……………「浜松市市民協働センターの目と鼻の先にある建物です」

利用者連絡会

前回は、西部パレットの価値について多くの発言がありましたが、今回は具体的な機能や移転先案が提示されたため、会議室の廃止と移転について参加者から強く反対する意見が続出しました。

その理由として

- ・子どもに関わる問題や障害・難病についての相談事業を行っているため、プライバシーが守られる環境が必要
- ・土日の会議室利用を希望するがなかなか予約がとれない。活動場所が余っているという感じはしない。

同じ5階にあり複合施設であることのメリットが生かされつつある ハローワーク、障害者就労支援 など他の事業も一緒にうつることができるのですか？



県の回答

空きスペースを確保できる見込みはありますが、ロビーとかをパレットの専用スペースとして利用するのは難しいです。会議室は使えないと思われます。ザザの5階全部を県が借りており、共益費も含め家賃はおよそ8千万。障害者マルチメディア情報センターは障害福祉室が担当。ハローワークなどは県がスペースを貸しているという状態。丸ごと移転するかどうかはまだ分かりません。総合庁舎はそんなにスペースは見込めませんし。

現在の場所のままで、西部パレットの面積や機能の一部を縮小することにより、事業費を削減する方法もありますよね。



県の回答

いろいろな選択肢を考える可能性はあります。この施設が有るからこそ多様性に応えられるという皆さんの声は受け止めます。多様性は数字では表せないもので、これを説得力ある見える形になるといいですね。

「みんなで幸せな社会を作ろう」と願って活動しているNPOだからこそその会にしていきましょう
利用者連絡会の規約・議事録は西部パレットのホームページを見てね

次回は5月29日(土) 午前10時から開催します。

利用者の皆様の参加が、パレットの今後を決めます。

拡大幹事会:5月16日(日)午後3時から開催

* 幹事以外の方もどうぞ参加してください。